１．教育計画

分野	専門基礎分野　人体の構造と機能	科目名	解剖生理学Ⅲ
単位・時間	１単位・15 時間	対象学年	２年生
方法	講義・実習	時期	前期
講師名 （担当授業時間数）	専任教員　菅野　由美（14 時間）		
講師の実務経験	看護師として他病院に 11 年、星総合病院に１年４か月		
学習目標	１、解剖見学実習を通して、人体各部に実際に触れ、構造と機能の細部について理解を深める。 ２、代表的な臨床症状について、症状と解剖生理の知識をつなぎ解釈する思考のトレーニングができる。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能①		
参考文献	日本看護協会出版会 看護 形態機能学　生活行動からみるからだ 第４版 目でみるからだのメカニズム		
履修上の留意	・項目に合わせた解剖生理学復習ノートを持参すること。 ・４コマ分は解剖見学実習(１日)となります。事前にオリエンテーションを行いますが、８月に福島県立医科大学へ行く予定です。また、解剖見学実習は志らぎく会のご献体から学ばせていただく実習となります。医療従事者としてご献体に敬意を払い、倫理的かつ慎み深い行動を求めます。		
講師からの メッセージ	この科目は、大きく２つの構成です。１つは、解剖見学です。暑い最中ですがバスで福島医大へ行き、1 日間をかけて解剖された人体を見学させて頂きます。２つ目は、ナースが解剖生理の知識を臨床でどのように使って看護につないでいるのか、イメージできるような学習を行います。この学習は、後期の科目「疾患がわかって看護に活かす~臨床判断の基本～」という科目に直結します。 新しい知識をインプットする科目ではありませんが、1 年次に学んだことを土台に知識の使い方を学ぶような科目を目指します。積極的に受講して下さい。		

２．授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1 2 3 4	8	解剖見学実習	1、解剖見学 2、展示室見学	実習	
5	2	臨床症状と解剖生理の知識をつなげる（1）	1、呼吸症状と解剖生理 2、発熱・炎症と解剖生理	講義	

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
６	２	臨床症状と解剖生理の知識をつなげる（２）	１、消化器症状と解剖生理	講義	
７	２	臨床症状と解剖生理の知識をつなげる（３）	１、循環器の症状と解剖生理	講義	
８	２	評価	筆記試験		